



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会長：岡田 雅隆
■幹事：福富 孝弘
■会報委員長：宇佐美 芳樹

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U RL／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部
電話／0568-61-2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2837回 例会 (R3.3.2 火 雨/曇り ☔☁)

点 鐘 岡田 雅隆会長
R . S 君が代 奉仕の理想 四つのテスト(※ご静聴)
ビジター ☆愛知県犬山警察署 署長 大西 兼功様
幹事報告 福富 孝弘幹事

※近隣クラブはコロナ禍により、ほぼメーキャップ受付を
されておられません

☆中部なごやみらいロータリークラブ
事務局電話番号変更のお知らせ
新 TEL ; 080-5117-6555 (野中様)

☆2月13日(土) 国語力向上セミナー
過日の事業ではご協力をありがとうございました
3月5日(木) 中部経済新聞に掲載予定

☆第16回理事会資料&第3回クラブアッセンブリー資料
2月開催予定の会議資料を本日持ち回りにて配布

☆3月14日(日) 地区大会のご案内
出席義務者へ本日ご案内配布

☆「抜筆のつづり」が届いており、本日配布

出席報告 (保浦博志委員長)
出席率 100% 会員 52名 (*出席率は紙面での報告のみ)

祝 福 (鈴木一成委員長)
おめでとうございます!!

会員誕生日	藤井 友喜君	2月6日
会員誕生日	福富 孝弘君	2月10日
会員誕生日	安田 一生君	2月24日
会員誕生日	関矢 正己君	3月3日
会員誕生日	日比野 万喜男君	3月4日
在籍23年	牧野 武彦君	2月24日
皆出席12年	小川 誠君	2月24日
皆出席10年	松山 基邦君	2月22日
皆出席8年	鈴木 一成君	1月29日
皆出席7年	松平 實胤君	2月4日
皆出席4年	宇佐美 芳樹君	2月28日

御夫人誕生日

板津英基君夫人	みと子様	1月27日(結婚記念日 3/7)
中村大輔君夫人	春 香様	2月21日(結婚記念日 5/4)
稲垣圭次君夫人	珠 紀様	2月28日(結婚記念日 4/23)

結婚記念日

伊藤 隆君夫人	憲 子様	2月22日(御夫人誕生日 5/3)
---------	------	-------------------



☆☆ 皆出席おめでとうございます! ☆☆



☆☆ お誕生日 おめでとうございます! ☆☆

ニコボックス (大島匡博委員長)

岡田雅隆君 新年例会以来のホーム例会ですが、今日は春の嵐の中をようこそご出席くださいました。コロナ終息はまだ道遠しようですが、春とともに少し、明るい兆しが見えてきました。十分に体制を整えて例会を開催いたします。皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

(同文にて) 松平実胤君 福富孝弘君 丹羽敬昇君

小川 誠君 皆出席 12 年を喜んで！
松山基邦君 皆出席 10 年を喜んで！ 10 年間の友情に感謝申し上げます。例会再会喜んで！
鈴木一成君 皆出席 8 年を喜んで！
松平實胤君 皆出席 7 年を喜んで！
宇佐美芳樹君 皆出席 4 年を喜んで！
藤井友喜君 犬山警察署 署長 大西兼功様の卓話を拝聴できることを喜んで！

(同文にて) 埴田惣一君 原正男君 日比野良太郎君
保浦博志君 板津英基君 岩間信夫君
加藤浩一君 兒玉寿君 近藤斉宏君
近藤俊也君 真野健二君 松山基邦君
小川誠君 小川征一君 奥村正幸君
大島匡博君 関矢正己君 朱宮新治君
祖父江寿男君 住野龍之介君 高橋秀治君
谷定貴之君 山田直廣君 山根雄司君
安田一生君 安田新平君 吉田洋君

会長挨拶 (岡田 雅隆会長)



みなさま、こんにちは。緊急事態宣言も解除され、また例会を再開させて頂きます。願うのは、もう休会することなく、6月最終例会まで行けることをひたすら願うのみであります。

本日は、この後犬山警察署大西署長様に卓話をお願いしておりますし、久々の例会で祝福などやるのが山積みでありますので、会長挨拶も短く割愛で進めさせて頂きます。

来週はその分中身の濃いスピーチをさせて頂くことをお願いし、本日の挨拶とさせて頂きます。

その他委員会報告

◎親睦活動委員会 (鈴木一成委員長)

3月30日(火)開催予定の夜間花見例会はコロナ禍にて中止、通常例会に変更となりますのでご連絡致します。お間違いないようお願い致します。

◎次年度幹事 (藤井友喜君)

☆21-22 年度第 2 回理事会 & 第 1 回クラブアッセンブリーのご案内

日 時：3月9日(火)

理事会 17:30～／C.A.18:00～

場 所：あじか

＝以下本日ご案内配布＝

☆21-21 年度合同委員会のご案内

<クラブ奉仕系>

日 時：3月16日(火) 18:00～

場 所：大 安

<事業委員会系>

日 時：3月23日(火) 18:00～

場 所：あじか

◎S.A.A. (梅田佳和 S.A.A.)

S.A.A.担当例会について

日 時：3月16日(火) 12:30～13:30

場 所：大縣神社

※例会は通常通りの時間ですが、ご祈禱を希望される方はご祈禱(11時30分)の前11時15分にお集まり下さい。

卓 話

プログラム・出席委員会 (保浦博志委員長)

☆犬山警察署 署長 大西 兼功 様



ご紹介いただきました犬山警察署長の 大西 兼功 様です。昨年3月26日、前任の機動隊からこちらに着任してまいりましたので、犬山署勤務はこれでちょうど1年となります。

ただ昨年3月と言いますと、すでにコロナ禍の第一派の最中であり、以降ご案内の状況ですので、この1年というものの、ほとんど警察署の外で市民の皆様を前にお話する機会がありませんでしたから、今日は着任挨拶のつもりでまいりました。

まずは、犬山ロータリークラブ皆様におかれましては、日頃から警察行政全般にわたりご理解ご協力を頂いておりますことに高い席ではございますが、改めて厚く御礼申し上げます。

またこの度、3人の当署員を優良署員として、後日賞揚していただけるとの過分なるお詫を賜っておりますことにも、衷心より御礼申し上げます。

さらに本日は、皆様の貴重なお時間を頂き、お話をさせていただく機会を与えられましたことに、重ねて感謝申し上げます。

今日は「私の警察経歴」というお話を頂きましたので、つまらない話をさせていただくわけですが、恐らく皆様にとって「警察」と申しますと「融通が利かない、上から目線のお堅い組織」という印象をお持ちではないかと思っております。

そこで犬山ロータリークラブの皆様には警察をより一層ご理解いただくため、まずは、

○警察に入るまでの私の生い立ち

○警察経歴～人との出会いによって見えてきたもの～を中心にお話し、最後に、少し

○私の警察署運営の考え方

に触れさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

まず、私の生い立ちですが、私は昭和 37 年 2 月 22 日生まれの 59 歳、警察は今のところまだ 60 歳定年制です。来年度の春には定年退職する見通しです。

私の警察に入るまでの生い立ちについては、一言で申しまして母と二人で歩んできた道のりであったように思います。

母は昭和 8 年生まれの 87 歳、現在は特別養護老人ホームでお世話になっています。父は私が小さい頃に病気で他界しておりますので、私はほとんど父の面影を知りません。母が申すには父は大正生まれで太平洋戦争では旧満州方面に出征し、旧ソ連で抑留され、終戦後暫くして復員し、名古屋で寿司屋を営んでいました。私の名前は兼功と申しますがその「兼」の字は当時の寿司屋の屋号から取ったと聞いています。

私は兄弟はおりませんので、母ひとり子ひとりという家庭で育ちました。

母は父がいなくなってからは、主に新聞配達の傍ら、プラスチック加工の町工場です。早朝から夜間遅くまで働いていましたので、私はその町工場の住み込み借家などを転々とし、その間いわゆる「鍵っ子」で過ごしました。

ですから母ともゆっくり食事をしたり、語らったりした記憶はありませんが、母が常に申していたのは「兼功は人様のためになる仕事を選びなさい」、「正々堂々と生きなさい」という言葉でした。母のお陰で曲りなりにも中庸な物の考え方ができる一人の社会人に育つことができたと思っています。

確か、小学 4 年生の頃だったと記憶していますが、今は千葉県知事として活躍されている俳優の森田健作さん主演のテレビドラマ「俺は男だ!」を観て、憧れから剣道を始め、その頃から警察官と云う職業にも憧れるようになりました。

この「俺は男だ!」という番組名もジェンダーフリーの現代では単なる危ない言葉になってしまいました。

高校は名古屋学院高校で、卒業後の進路は大学進学と愛知県警察官の両方を考えていましたが、母一人だけの収入で私学の高校を卒業させてもらいましたので、それ以上の無理も言えず、結局警察官の道を進むことにしました。昭和 55 年春のことでした。

私が警察官の採用試験に合格したと知った時の母の喜びようは尋常ではなく、聞かれもしないのに近所に自慢げに触れ回っていたことを今でもよく覚えています。

今、母は認知症が進行し、息子の私の顔も、そして私が警察官として働いていることすらも理解できなくなりました。

経済的には相当しんどかったとは思いますが、私を何ん自由なく育ててくれた母が常に「世のため、人のため」を口癖にしていただけに、今こうして警察官としての職を貫いていることそれ自体が、母に対する最大の親孝行と考えています。

おかげさまで、今では尾張旭市の自宅に、私の良き理解者としてしっかりとエールを送ってくれている妻、そして既に独立していますが 4 人の子どもに恵まれました。

次に私の警察経歴ですが、これまでの約 40 年間に 19 回の人事異動、つまり単純計算では 2 年毎に異動し

ていることとなります。

そして 40 年の警察経歴のうち約 30 年を生活安全部でお世話になっています。

感覚的には警察本部の、それも同じ職場を出ては戻り、戻っては出るの繰り返しだったように思います。

「同じ職場」と申したのは、例えば少年関係課の勤務は 5 回通算 14 年半、生活安全総務課 3 回 3 年、機動隊関係勤務は 3 回 5 年といった感じです。

加えて東京の警察庁への出向、これも少年関係の仕事でしたし、名古屋市市民経済局への派遣、これも防犯カメラの普及促進という生活安全関係の仕事でした。

実は私は警察官を拝命し、警察学校へ入った頃からはとにかく刑事、それも殺人・強盗などの強行犯操作を担当する捜査第一課に入ることを強く希望していました。

しかし、自分の希望は全く叶うことなく、生活安全部門で長く仕事をする事になりました。

「生活安全」、この部門はかつて、「防犯部」という名称で呼ばれており、警察署でも防犯課と呼ばれていました。

生活安全部は警察の中でもとにかく間口が広く、交番・駐在・パトカーを統轄する地域部門や刑事、交通、警備以外のおよそ県民市民の生活に密接に関係する全ての警察事象を担当するセクションです。

具体的には犯罪抑止のための防犯活動はもちろん、DV・ストーカー・児童虐待などの人身安全対策、行方不明者の捜索・手配、少年の健全育成、サイバー犯罪対策、特定商取引、金融・資産形成、関税、宅建業、著作権等に絡む生活経済事犯、廃棄物処理法、売春・賭博のほか、銃砲刀剣類、風俗営業、火薬、質屋、古物、警備業、探偵業法の指導取締りなど、法令の数では 200 とも 300 ともいわれている特別法の指導取締りを一手に所管しております。

警察学校を卒業して千種警察署勤務をしていた頃のことですが、当時の防犯課長から「防犯課の仕事をしてみないか」と声を掛けられ、上司の誘いに背いてはいけないとの思いから「はい、お願いします」と何となく答えてしまったところから、その後の警察経歴がスタートすることになりました。

のちに、どうもこの課長さんは、別のの人に声を掛け、その人が断ったことから私にお鉢が回ってきたことを知りました。

全く、人の人生など「塞翁が馬」、何が転機になるか分かりません。

その後は、主に少年関係課において、

○暴走族などの非行少年グループによる集団リンチ事件や窃盗事件の捜査

○少年の福祉を阻害する、買春・児童ポルノ、薬物犯罪等の取締り

を長きにわたって担当してきました。中でも、

・平成 14 年 10 月、春日井市の児童自立支援施設「愛知学園」で入所児童らが当直職員を殺害するなどした強盗殺人事件の捜査

・フィリピン人・タイ人の少女を我が国に密航させてフィリピンパブなどで働かせる東南アジアルートの大規模な人身取引事犯の捜査

を指揮したことが、汗をかいた分だけ印象深いですが、こうした経験により捜査指揮のノウハウを学びました。生活安全総務課では、生活安全部全般の企画立案、

県議会対応、部内人事など事件捜査指揮以外にも幅広い仕事を経験させていただきました。

また平成15年春から3年間、東京の警察庁に出向し、国会における警察庁提出の法案審議や、児童虐待防止法の一部改正作業にも関与させていただき、他方名古屋市民経済局が、自治会、町内会に対する防犯カメラの助成金制度を新たに創設するにあたり、名古屋市へ派遣され、2年間助成金制度の制度設計に関わることもできました。

ちなみにこの警察庁勤務を通じて、憧れの森田健作さんともお会いすることができました。

当時、森田さんは衆議院の青少年特別委員会の筆頭理事としてご活躍されていました。警察庁の当時の上司が「大西君、ちょっと衆議院の議員会館に行くからついてこい」と言われて行った先がたまたま森田議員の議員事務所でした。森田事務所最初私は上司が森田議員を相手に提出法案の説明をする内容を黙って筆記していましたが、我慢していた気持ちが一気に噴き出したと云うか、千載一遇のチャンスとばかりに「森田先生、僕が剣道を習い始めたり、警察官になったりしたのはなぜだと思いますか」と上司の話に割って入ってしまいました。

森田先生は例のあの口調で「いや～、分からないね」と答えたので思いの丈をお話しました。後で上司からは「いらんこと言わんでいい」と大目玉を頂きましたが、何か心の支えがスッと消えたように清々しい気持ちになったのを覚えております。

さらに生活安全部以外には機動隊勤務が3回と申しましたが、1回目は小隊長としてPKOカンボジア派遣に伴う極左暴力集団の反対闘争警備、2回目は中隊長として第26回主要国首脳会議、通称沖縄サミットの警備、3回目は隊長として、つい最近ですが令和元年6月、今上天皇皇后両陛下の初のご公務となりました愛知県森林公園で開催された全国植樹祭の警備警備やG20大阪サミット、名古屋外相会合の警備を経験し、集団警備部隊の指揮というものを学びました。

機動隊は平均年齢29歳の警察組織の中で最も若い職場でしたが、若い隊員相手に森田健作バりに「青春」しておりました。

こうした私の警察経歴を思い返してみますと、特に若い頃は人一倍意地っ張りで負けん気も強く、相当背伸びをしていたように思い出されます。

ですから当時私という人間は上司や先輩にとっては相当に使い辛い存在だったのではないかと思います。

少なくとも今、犬山警察署長としてこういう部下はどうか、と問われればあまり一緒に仕事をしたくないタイプだったかもしれません。

こうした私を根気よく理解した上で、時に厳しく、時に優しく諭すように指導して下さった上司や先輩と巡り会えたことが、今日の私の大きな財産の一つとなりました。

そして、その上司や先輩は私をよく見ていて、技量の足りないところを十分把握した上で、その都度、大西の技量では少し荷が重いと思われるポジションを取って「お試し人事」のように与えてくれていたように思います。相当危ない賭けだったのではないのでしょうか。当時の先輩・上司には今はただ感謝しかありません。

そうした経験の集大成を発揮する場が奇しくもこの

犬山警察署となりました。

最後に犬山警察署の運営についての私の考え方を簡単に話します。

警察という組織、そしてそこに働く警察職員が、意識や在り方それ自体を根底から大きく改革することを余儀なくされた時期がありました。これが平成12年3月のいわゆる「警察改革」でした。

平成11年から翌12年にかけて発覚した全国的な警察の一連の不祥事からその在り方を大きく問い直すきっかけとなりました。

神奈川県警察本部長による部下の覚せい剤事件の隠蔽、神奈川県警機動隊員による集団暴行、埼玉県桶川ストーカー殺人事件の不適切な対応など、挙げれば切りのないほどの不祥事の発覚に当時「国民の信頼もついに失われた」とまで言われておりました。

その一大改革の最大の命題は「誰のための警察か」という一言に尽きると私は思います。

近年、この警察改革以降に警察官となった者も少なくないことから、私はこの警察改革は将来にわたり風化させてはならないと考えている者の一人です。

他方、国の「働き方改革」などいわゆるワークライフバランスや女性活躍推進の考え方も、これからの警察にとっては当然に必要なものと思われま

す。ですから言葉を換えれば、今ほど「組織の柔軟性」や「人事の緩急」が強く求められることはこれまでになかったように思います。

そこで警察署運営に関しましては、特にこうした組織の柔軟性や人事の緩急を踏まえ、次の5つの点が重要と考え、折に触れて署員にも徹底しています。

- ①警察署は住民の皆様が気持ちよく利用できるように常に業務や環境の改善に努めること
- ②常に業務の合理化、効率化に努めること
- ③住民の皆様方からの相談、要望・意見は書面化し全て署長まで挙げることに特に「苦情」は業務改善の「宝の山」と考えること
- ④住民の皆様からの意見・要望に対しては常に説明責任が伴うということをしっかりと意識すること
- ⑤コロナウィルス感染防止対策には万全を期することです。

当署の玄関に入っていただければ、そうした雰囲気の一部を感じ取っていただけるものと思います。

とは言え、なかなか行き届かない点もあるかと思いますが、本日お見えの皆様におかれましてはお気づきのことがございましたら是非お気軽にご意見・ご要望をいただきたいと思

います。長時間にわたり、ご静聴いただき誠にありがとうございました。

犬山警察署では「安心して暮らせる安全な犬山市・扶桑町の実現」を基本的な目標として、今後ともしっかりと対応してまいりたいとお考えていますので、変わらぬご理解ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、犬山ロータリークラブの今後益々のご発展、本日ご参会の皆様方のご健勝ご多幸を祈念して、つたない私のお話を閉じさせていただきたいと思

います。本日は誠にありがとうございました。